

【参考資料】 GIGA スクール構想の実現に向けて



教科の学びを深め、教科の学びの本質に迫る ICT の活用



日高教育局では、臨時休業中における各学校のICTを活用した学習支援について、電話等で聞き取らせていただきました。各学校の校内研修等において、令和2年(2020年)5月29日付け教環第126号で送付しました資料「GIGAスクール構想の実現」の理解を深めるとともに、管内の小・中学校での取組を参考にし、自校のICTの活用の充実を図ってください。

「1人1台端末・高速通信環境」がもたらす学びの変容イメージ

GIGAスクール構想
 ✓ 1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たち一人一人に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現する
 ✓ これまでの我が国の教育実践と最先端のICTのベストミックスを図り、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す

これまでの教育実践の蓄積 × ICT = 学習活動の一層充実 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

「1人1台端末ではない環境」	「1人1台端末」の環境
一斉学習 ・教師が電子黒板等を用いて説明し、子供たちの興味・関心を高めることはできる 個別学習 ・全員が同時に同じ内容を学習する(一人一人の理解度等に応じた学びは困難) 協働学習 ・グループ発表なら可能だが、自分独自の意見は発信しにくい(積極的な子はいつも発表するが、控えめな子は「お客さん」)	学びの深化 ・教師は授業中でも一人一人の反応を把握できる → 子供たち一人一人の反応を踏まえたきめ細かな指導等、双方向型の授業展開が可能に 学びの転換 ・各人が同時に別々の内容を学習できる ・各人の学習履歴が自動的に記録される → 一人一人の教育的ニーズ・理解度に応じた個別学習や個に応じた指導が可能に ・一人一人が記事や動画等を集め、独自の視点で情報を編集できる ・各自の考えを即時に共有し、共同編集ができる → 全ての子供が情報の編集を経験しつつ、多様な意見にも即時に触れられる

「1人1台端末」の活用によって充実する学習の例

- 調べ学習 課題や目的に応じて、インターネット等を用い、記事や動画等の様々な情報を主体的に収集・整理・分析
- 表現・制作 推敲しながらの長文の作成や、写真・音声・動画等を用いた多様な資料・作品の制作
- 遠隔教育 大学・海外・専門家との連携、過疎地・離島の子供たちが多様な考えに触れる機会、入院中の子供と教室をつないだ学び
- 情報モラル教育 実際に真偽様々な情報を活用する各場面(収集・発信など)における学習

資料「GIGAスクール構想の実現について」

「オンライン朝の会」における児童の家庭学習の取組状況の把握

浦河町立浦河小学校の取組

浦河町立浦河小学校では、臨時休業期間中に、全児童に配付したタブレット端末を活用した、「オンライン朝の会」を実施し、家庭での学習におけるポイントの説明やその日の家庭学習の取組状況等の確認を以下のように行いました。

- ・登校時刻に合わせて、各家庭でビデオ会議アプリ Zoom を使用し、学級担任とあいさつ、健康観察及び家庭学習の状況確認を行いました。
- ・学校が配付した課題について、短時間でポイントを説明したり、例題を示して取り組ませたりすることにより、主体的に学習に取り組むことができました。



複式学級における動画を活用した間接指導

えりも町立笛舞小学校の取組

えりも町立笛舞小学校では、複式学級における間接指導時に、児童が主体的に学習内容について確認するため、児童の学びを中断させることのないよう動画の活用を試行しています。

- ・児童が取り組む問題について、教師がワークシートに書き込みながら解説する動画を準備し、自力解決の時間の後で、動画を視聴することができるようにしました。
- ・今後は、複数の児童が同時に動画を視聴するのではなく、児童一人一人が学習状況に応じて視聴するなどの効果的な活用を模索していきます。



モニター情報で職員の打合せを縮減

新冠町立新冠小学校の取組

新冠町立新冠小学校では、打合せを縮減し教職員が時間に余裕をもって業務を推進するため、職員室においてモニターを活用しています。

- ・業務に係る連絡や予定表等を職員室に設置した2つのモニターに表示することにより、職員間の情報共有を図り、朝の打合せ等の削減及び時間短縮を実現することができました。
- ・職員のパソコンにモニターと同じ情報を共有するとともに、各分掌における連絡等と同じシステムを活用して行うことにより、管理職の負担軽減及び放課後における会議の時間短縮につながっています。

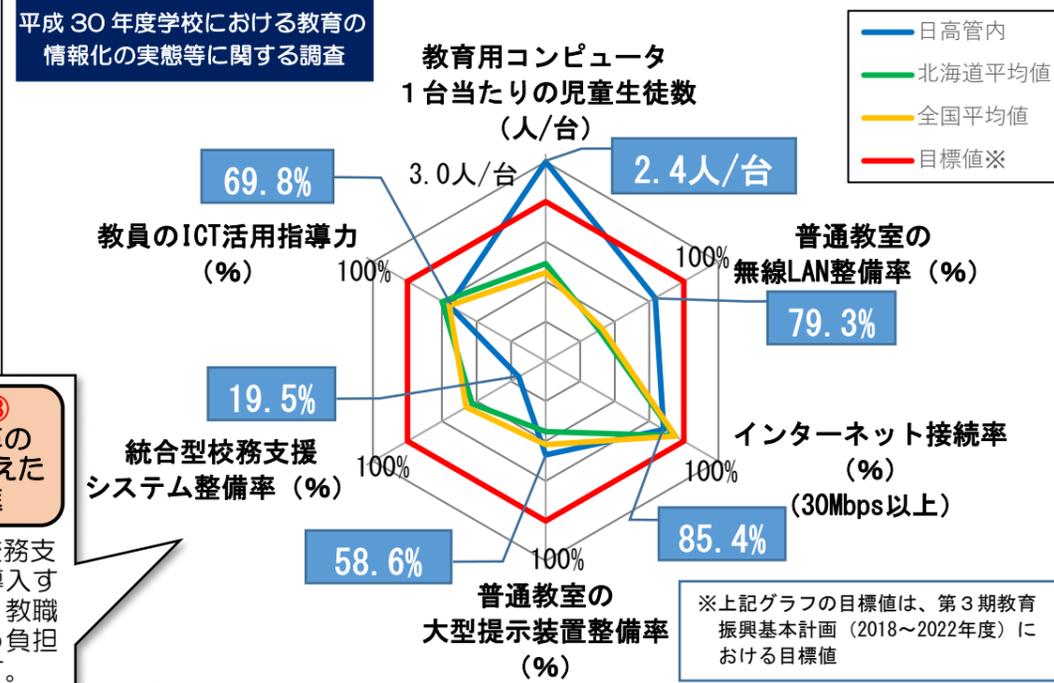


今後の一人一台PCの活用アイデア例

- 理科の授業において、オシロスコープ等の**アプリ**を活用した音の大きさや高さを調べる学習での活用
- **家庭学習**での利用
 - ・計算練習等の学習の習得時に活用
 - ・調べ学習によるレポート作成に活用
 - ・教師の点検作業での活用
- **キャリア・パスポート**としてデータを蓄積

昨年度行われた調査では、日高管内の教育用PC1台当たりの児童生徒数が目標値を超えています。

浦河町では、すでに一人一台PCを活用した授業実践が行われている学校もあります。



ポイント③ 働き方改革の視点を踏まえた導入の促進

管内共通の校務支援システムを導入することにより、教職員の異動に伴う負担も軽減できます。

学校のICT環境の整備には、町教育委員会との情報共有が大切になります。また、各学校で育成を目指す資質・能力とICTの活用を教育課程に位置付ける必要があります。